

体験活動や特産品開発により、 交流や関係人口の増加に取り組む

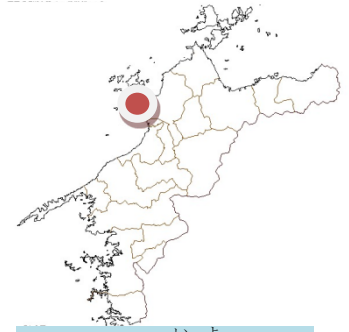
—体験学習と教育機能—

住民自治されだに



されだにきてみん祭

佐礼谷地域は、平成 20 年に「住民自治されだに」を発足し、住民自治の先進的地域として様々な活動を行っている。その中の農業に特化した取り組みでは、地域の有志が中心となって、耕作放棄地を整備してモデルほ場（SVG：佐礼谷ベジタブルガーデン）として利用し、また、ほ場としての利用のみならず、地域住民の交流会や地域外からも多くの来客のあるイベント「されだにきてみん祭」を開催している。収穫物の学校給食への提供、収穫物を用いた特産品の開発にも取り組んでいる。このような取り組みは、耕作放棄地の解消と住民の交流の推進の1つのモデルとして高評価を得ている。



愛媛県伊予市

〔体験学習と教育や交流〕

毎年、地区内の小学生を対象に地元農家の指導のもと、米作りの体験を行っている。田植え前には、泥んこあそび（サッカーやかけっこなど）をして、楽しみながら農業にふれる機会を創出している。また、地域外や移住者の方にも声をかけ、芋ほり作業を一緒に行うなど、関係人口の増加にも取り組んでいる。



泥んこ遊び

〔地域社会の振興：女性参画による特産品づくり〕

特産品づくりを主な目的に、地域の女性有志がグループ「イエローキッチン」を発足し、精力的に活動をしている。特産「ゆずこしょう」の生産をはじめ、地域内外の店舗、イベントへの出品やふるさと便の発送などに取り組み、佐礼谷地域ブランドの認知度向上に貢献している。



特産の「ゆずこしょう」
づくり



芋ほり作業



地域の特産品と魅力をつめこんだふるさと便